

2025年4月11日
ポカリスエットPR事務局

報道関係各位

ポカリスエット 新CMスタート！
汗は流れて終わりじゃない。汗は自分だけの汗じゃない。
「君はきっと、誰かの太陽。」篇
4月11日(金)より全国でOA開始
現役高校生ダンサー武蔵と勇太が全力の汗で魅せる。

大塚製薬株式会社(本社:東京都)は、健康飲料「ポカリスエット」のCMキャストに、現役高校生ダンサーの原口武蔵(はらぐちむさし)さんと勇太(ゆうた)さんを起用し、新TVCM「君はきっと、誰かの太陽。」篇(15秒、30秒、90秒)を、4月11日(金)から順次、全国で放映します。地上波での初放送は、同日放送の「ミュージックステーション 2時間SP」(テレビ朝日系列、よる20時～)内のCM枠となり、90秒の特別版をOALします。

本CMは、「君はきっと、誰かの太陽。」をキーメッセージに、メインキャストの原口武蔵さんと勇太さんがダンスを通じて、切磋琢磨し合い、互いに影響を与え合いながら成長していくストーリーとなっています。その中で、汗をかくことの楽しさや、流した汗は、きっと誰かが見ており、気づかないうちに他者に良い影響を与えていく。そして汗をかいた人は、周囲を照らし、いつしか他者にも汗をかきたいと思わせる太陽のような存在になるというメッセージを描いています。武蔵さんと勇太さんは実際の現実世界でも、幼い頃から切磋琢磨してきた仲。長く共に高め合ってきた二人だからこそ、表現できる力強いダンスを披露しています。気候変動により異常気象や夏の気温上昇で活動を控えることも増え、汗をかく機会が減り、汗が見えにくくなっている昨今、ダンスで心を通わせるメインキャスト二人のフレッシュな汗を通じて、改めて「汗が持つ力」を届けたいという思いが込められています。熱量たっぷりの最新作にご注目ください。



■新TVCM概要

タイトル:「君はきっと、誰かの太陽。」篇(15秒、30秒、90秒)

出演: 原口武蔵(はらぐちむさし)
勇太(ゆうた)

ナレーション: Hana Hope

楽曲: STUTS「99 Steps (feat. Kohjiya, Hana Hope)」

Produced, Arranged and Mixed by STUTS

Written by Kohjiya, Akihisa Kitazato

Additional Strings by Anzu Suhara

STUTS (プロデュース・アレンジ・ミックス)

Kohjiya (ラップ)

Hana Hope (歌)

放送開始日: 2025年4月11日(金)

放送地域: 全国

■WEB上の動画公開先(4月11日(金) 00:00より順次公開予定)

◇CM本編(大塚製薬公式YouTube): https://youtu.be/lwX8kj-f_Ug

◇History Video(YouTube): <https://youtu.be/VQFPdVe6WyQ>

◇History Video(ポカリスエット公式TikTok): https://www.tiktok.com/@pocarisweat_jp

■ストーリー

心象世界(心の中に描き出されるイメージの世界)で思いのままに自分のダンスを踊る勇太とそれを見つめる武蔵。勇太のダンスを見て、憧れの存在でありながらも、ライバルとして彼のダンスのクオリティ、パフォーマンスの高さに悔しい気持ちを持つ武蔵。負けじとがむしゃらに勇太に食らいついていく。陽が沈んでも踊り続け、汗をかき続ける二人は、互いに影響し合い、その汗はいつしか周りも巻き込んでゆく。歓声の中心で踊る勇太と武蔵。汗のリレーは続いていく。





■メインキャスト

●原口武蔵 15歳

HIPHOPを得意とし、独自の音の取り方で自由に身体を表現する。6歳からダンスバトルに挑戦し始め、数々の大会で優勝を果たす。11歳で、世界最大級のダンスバトル『マイナビDANCE ALIVE HERO'S 2020&2021 FINAL』のファイナリストに選出され、以降4年連続でファイナリストに名を連ねるなど、全国的な実績を残している。

小学3年生の時に相方・勇太とともに「Rampagers」を結成。クルーバトルやコンテストでも全国を舞台に活躍し、結果を残す。

現在は、株式会社LDH JAPANが運営する「EXPG STUDIO」にて育成契約を結び、さらなる夢に向かって日々奮闘中。



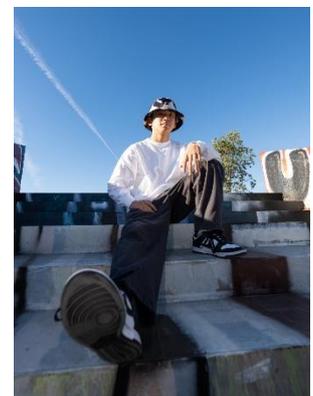
●勇太 16歳

Pop、Animation を軸に磨き上げたスキルに加え、ミュージカルティと遊び心いっぱいのダンスで観るものを魅了するファンキーモンキー。

WORLD DANCE COLOSSEUM WORLD FINAL 2024にて優勝し見事高校生世界一に輝く。マイナビDANCEALIVE キッズサイド5回のFINALISTを経験し、LAで行われた世界大会Freestyle Sessionでは、世界各地から参加した猛者達と戦い2年連続BEST8に輝く。

武蔵とのチーム「Rampagers」では全国のキッズダンスコンテスト優勝を総なめに。龍とのチーム「龍と勇太」ではアニソンドダンスバトル全国大会でチーム史上初の2連覇を飾る。

他にも、超個性的同世代クルーの「DESCARADOS」やBeatboxer JUNとの異色Tag「CUBE」として、ダンス界のみならず色々な場所で活躍中。



武蔵さんと勇太さんは、プライベートでも、幼少期からチームを組み、6歳から現在に至るまで切磋琢磨し、若手ダンサーとして日本トップクラスまで成長した、仲間でありライバル関係。

■ 楽曲情報

● STUTS

1989年生まれのプロデューサー・トラックメーカー。

自身の作品制作やライブと並行して、数多くのプロデュース、コラボレーションやTV・CMへの楽曲提供など活躍の場を広げている。

2021年4月にはTVドラマ「大豆田とわ子と三人の元夫」

主題歌『Presence』を発表。

同年10月にSTUDIO COASTワンマンライブを成功させた。

2022年10月に3rd アルバム『Orbit』、12月にはMirageCollective名義でのアルバム『Mirage』をリリース。2023年6月に初となる日本武道館公演を成功させた。2025年9月23日には初のアリーナ公演『Odyssey』を開催する。



・コメント

[ポカリスエットCMの印象は？]

映像と音楽がCMのために同じ方向を向いて作られていて、規模も大きく見たことのない映像を毎年作っていてすごいなと思っていたので、お声がけ頂いて本当に光栄でした。最初の打ち合わせで「君はきっと、誰かの太陽。」というキーメッセージとCMの企画を聞いて、トラックのフレーズを作るところから始めました。ポカ리를飲んだ時の「爽快感」や「気持ちよさ」も表現したいと思い、自分も中学生の頃、部活の後にポカ리를飲んだ思い出が色々あったので、その時の感情を思い出しながら作りました。

[楽曲について]

Hana Hopeさん、Kohjiyaさんとは初のコラボです。今回CMの話をしていただいた時に、Kohjiyaさんの声ならこのトラックととても合うだろうなと思って、オファーさせていただきました。

女性ボーカルを探していた時に、Hana Hopeさんの曲を聞かせてもらって、すごくイメージが湧いたので、Hana Hopeさんにお声がけし、彼女が歌唱するパートのメロディと歌詞を長年の友人でもある北里彰久さんにお願ひさせてもらいました。

Kohjiyaさん、Hana Hopeさんお二方とも最高のラップと歌唱をしていただいて、北里さんのメロディと歌詞も本当に最高なので、いい曲ができたなと思っています。

[STUTSさんが影響を受けた汗は？]

ずっと昔から一緒にやらせてもらっている『KMC』さんというラッパーさんがいるんですけど、その人が僕が最初MPCでライブし始めた時、「お前そんなんじゃダメだよ。もっと動かなきゃ。」みたいな感じのアドバイスをくれて、結構そこから自分のライブのスタイルが変わりました。KMCさんもライブの時、すごく汗かいて、全力でがむしゃらにパフォーマンスする方なので、影響を受けた汗だと思います。

● Hana Hope

2006年生まれ歌手・シンガーソングライター。

13歳でYMO結成40周年を記念したトリビュートコンサート

〈Yellow Magic Children〉に参加した事をきっかけに、

シンガーとしての活動を本格的にスタート。

透明感に満ちたノスタルジックな歌声と、唯一無二の癒しをもたらすパフォーマンスが話題を呼ぶ。



ミュージシャンとのコラボレーション楽曲も多数制作し、Hana Hope独自の音楽性を表現している。
2025年3月にメジャー・1stアルバム「Between The Stars」をリリース。
4月20日(日)に渋谷WWW(SOLD OUT)、8月11日(月・祝)に代官山ユニット(4月12日チケット発売開始)それぞれでワンマンライブを予定。

・コメント

[ポカリスエットCMの印象は？]

学生の支えになっているCMだなと思っていて、学生のコミュニティを支えて、絆のようなものを大切に表現されていて、いつも感動していました。私も歌手活動と学業を両立しながら、大変な時もいっぱいあって。ポカリのCMを見て、頑張ることができたので、素敵だなと思っていました。

[オファーがきた瞬間について]

すごく嬉しかったです。ポカリのCMを歌うのは、私のアーティストとしての一つのバケツリストだったので、それができたのがすごく嬉しくて。しかも素晴らしいアーティストの方々とコラボレーションできることをとても楽しみにしていて、楽曲を聴いた時に新鮮なトラックとさわやかなメロディラインがついていて、それもまたワクワクしました。

[歌唱のポイント]

STUTSさんの作り上げたトラックにはSTUTSさんなりのグルーブがあって、それに寄せながらも、自分のグルーブを加えてみたいと思っていたので、歌い方や表現の仕方などを練習しました。歌っている時には、あんまり考えないようにスラスラと出てくるありのままの声を意識していて、聞く側も考えなくても、そのままずっと頭の中に入れてもらえたらいいなと思い。その点を心がけました。

[Hana Hopeさんが影響を受けた汗は？]

お母さんです。いつも細かいところもすごく手伝ってもらっていて、私が音楽を一生懸命できるように色々なパーツをまとめてくれているところを見て、頑張らなきゃという思いが強くなりました。今回CMが決まって、最初に電話したのがお母さんで「ポカリの歌唱決まったよ！」と嬉しくて、駅で踊りながら電話したのですが、とても喜んでくれました。

●Kohjiya (コージヤ)

2002年生まれ、22歳。

長崎出身・東京在住のラッパー/ソングライター

名前の由来は、地元である麴屋町(こうじやまち)からきている。

2014年地元の同級生であるSHIÓLA,AURALと共にラップを始め

2020年本格的にキャリアをスタート。

翌年2021年に¥ellow Bucks とのコラボ曲をリリースし注目を集めるとIO (KANDYTOWN), Shurkn Papのアルバムに客演参加するなどシーンの第一線を走るアーティストから確かな信頼を得る。

2024年には「この一年を自分の年にする」という意気込みを込めて、「KJ SEASON」を掲げ3枚のミニアルバムをリリース。KJ SEASON 2ではApple Music HIPHOPチャート1位を獲得した。その他ラップスタア2024優勝、FIRST TAKEへの出演など話題となった。

また、音楽以外にもアルバムのアートワークやMVディレクションなど、クリエイターとして幅広く活動中。



・コメント

[ポカリスエットCMの印象は？]

小中の時にサッカーをしていたので、練習の時によく飲んでいました。元気がないときも母がよくポカリを買ってきてくれていてすごく馴染み深いです。CM曲では「キミの夢は、ボクの夢。」がとても印象に残っています。

[本依頼が来た時の感想]

まさかポカリのCM曲を歌えると思っていなくてビックリしました！誰かにとって、学生だったあの頃を思い出して口ずさめるようないい曲をつくりたいなと思いました。

[今回のリリックのテーマやポイント]

いつもは、今の自分にフォーカスを当ててストレートに歌詞を書いていたんですが、今回は僕が学生の頃、夢に向かってひた走ってる姿を思い出しながら書きました。昔から音楽で成功するのが夢だったのですがみんなにも共感してもらえるようにあえて普遍的にすることをテーマに、当時聴いていた音楽とか、あの頃通ってた道を歩いてる時に、その時の色とか匂いが蘇ってくる瞬間があると思うんですが、そういう曲になればいいなと想いながらつくりました。

[Kohjiyaさんが影響を受けた汗は？]

母親です。僕の通ってた保育園と学童の先生でもあったんですが、一緒に汗かきながら走って遊んでくれてました笑 尊敬してます！

■楽曲リリースに関して

リリース情報は後日、ポカリスエット公式SNS・各アーティストより発表いたします。

